

令和6年産 ちくしB5号栽培ごよみ

三井地区農業振興協議会
JA み い
久留米普及指導センター
令和6年4月作成



増収と品質向上のポイント

- 作付の団地化と排水対策
- 適期適量播種（7月20日までに播種完了）
- 中耕・培土の徹底（生育促進と倒伏防止）
- 除草と病害虫防除の徹底

運動の目標 三井地区大豆生産性向上運動

- ① 単収の向上：10a 当り270kg
- ② 団地化率の向上：100%
- ③ 品質の向上：上位等級（1、2等）比率90%以上
- ④ 種子更新率：100%
- ⑤ 栽培履歴（作業管理日誌）の記帳、提出

月	6			7			8			9			10			11		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育相				播種適期			開花期			幼莢期			子実肥大期			収穫期		
主な作業	● 麦ワラすき込み			● 種子消毒 ● 土壌改良資材の施用			● 耕起整地・作溝 ● 播種・施肥 ● 除草剤散布			● 第1回中耕培土（播種後15日頃） ● 第2回中耕培土（播種後25〜30日頃） ● 第3本葉（第1本葉） ● 第2本葉（第2〜3葉の時期）			● 病害虫防除（ハスモンヨトウ・紫斑病）			● 青立ち株 雑草の抜き取り ● コンバイン収穫		

※大豆のうね間かん水

- ① 大豆は開花期から莢の伸長、肥大期までが乾燥に最も弱い時期です。
- ② うね間かん水は、ほ場の土壌表面が白乾し始めた頃から開始します。
- ③ 高温の日中は避け、短時間で水が行き渡るようにうね溝を落水口につなぎます。
- ④ 水が停滞すると湿害を起こすので、水が行き渡ったら速やかに排水する。

土づくり

目的に応じて下記のいずれかを施用する

目的	資材
酸度矯正	生石灰 100kg/10a ※播種10日前までに土壌混和する
石灰、苦土の投入	ミネラルG 200kg/10a 炭酸苦土石灰 100kg/10a

地力の維持向上には大地のめぐみちゃん(堆肥)1t/10a、わらの全量すきこみが効果的

排水対策

- ・隣接する水稻ほ場からの漏水を防ぐため、大豆のほ場の団地化を図りましょう。
- ・極端に排水が悪いほ場では、プラウ耕や弾丸暗きょにより排水を促しましょう。
- ・播種後の湿害対策にはうね立て播種が有効です。うね立てには培土板やロータリー爪の付け替えによる方法があります。

種子消毒

全量種子更新し、下記の農薬で種子消毒しましょう。

目的	農薬	使用量
紫斑病予防 ハト害対策	キヒゲンR-2フロアブル	種子10kgに対し200mlを塗抹処理

播種基準

播種時期	適期播		遅播
栽培密度	7月6日〜10日	7月11日〜20日	7月21日〜31日
条間×株間(cm)	70×25	70×20	70×15
m ² 当り株数(×2粒)	5.7株	7.1株	9.5株
播種量(kg/10a)	3.5	4.5	6.0

播種量はその年の種子重量により多少前後します。
播種深度は3cmを基準とする。土壌が乾燥している場合やしばらく降雨予報がない場合は5〜6cmと深めに播種し、鎮圧を強めに行う。

施肥基準

肥料名	基肥量
ちくごめぐみ444	15kg

※生育不良田については開花期までにNK化成2号を10kg施用しましょう。

品種の特性

品種名	播種期 月 日	開花期 月 日	成熟期 月 日	花 色	主茎長 cm	耐倒伏性	耐病性	10a当り 収量 kg	品 質	百粒重 g	へその色
ちくしB5号	7.10	8.20	11.2	紫	67	やや強	強	366	中上	32.4	黄

農薬の登録内容は随時変更されますので、使用する際にはラベルをよく確認して下さい。
周辺作物へ農薬が飛散しないように注意しましょう。

・JA みい 営農センター TEL.0942 (78) 3035 ・久留米普及指導センター TEL.0942 (47) 5101